

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/11/30 Vol. 73 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

### 印西市議会/平成 17 年第 3 回定例会報告 ( 6 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会 ( 9 月議会 ) は、10 月 14 日 ( 金 ) までの会期日数 37 日間にて行われ、条例の制定を 2 件、条例の一部改正を 5 件、平成 17 年度補正予算を 4 件、人事案件に伴う同意 2 件、請願 3 件のほか、平成 16 年度の決算認定他議案審議を行ない、閉会しました。今回は、9 月議会最後のご報告です。平成 16 年度決算認定についてご報告していきたいと思ひます。

#### 平成 16 年度決算認定を行いました。～私も賛成しました。

\* 特別会計 = そのサービスの提供から得られる料金などの対価によって支出を賄う場合  
一般会計とは別に経理するものです。( 国民健康保険料、介護保険料、下水道料金等 )

#### ( 代表監査委員にこんな質問をしました。( 抜粋 ) )

印西市が主体となって行われる契約は、「不透明だ。談合ではないかと」と見受けられるものが多くあり、市民の不信の声も聞く。契約の適正化にむけて、代表監査委員はどのように関わっていくのか。

/ 手賀 4 号幹線をはじめとする、公共工事の入札については、落札率が 90% を下回ることは聞かない。適正と判断しているのか。

/ 随意契約について、適正な契約が行われているかどうかの判断はどこにおくか。

#### ( ぐんじとしのりから / 市民の皆様へ )

印西市の監査には 2 名の監査委員があたっています。今回の代表監査委員への質問は「職務権限に則って仕事をしていますか。」ということをお聞きしました。監査委員の仕事としては、当然、財務監査がありますが、それ以外にも、市の事務の執行についても監査を実施する行政監査を行います。( 行政監査は、組織、職員の配置、事務処理の手続き、行政の運営等「一般行政事務」の執行が法令の定めるところに従って適正に行われているかどうか、適法性、効率性、合理性等の観点から行う監査です。) しかし、印西市ではこの行政監査を行っているのだろかという疑問をもったので今回の質問をしたわけですが、特に今回の項目 ( 公共工事の入札 ) については、「適正と考えている」旨の回答がありました。本当に監査を行っているのでしょうか。

( 私は入札のありたかについては議会で「電子入札」をすすめて欲しい等の意見を述べております。 )

監査委員は、関係人の出頭、調査、帳簿・書類その他の記録提出を求め、又は学識経験を有する者等から意見を聴くことができます。仕事量が多いのは承知していますが、市民の税金を預かり、市全体の金銭のチェックをしているとの自覚をもち、職務遂行を行ってほしいものです。( 定員 3 名なので、私は増員を求めています。 )

#### 印西市議会平成 17 年第 4 回定例会が開催されます。

今回の定例会は 12 月 2 日 ( 金曜日 ) から 16 日 ( 金曜日 ) まで行われます。

「ぐんじとしのり」は、12 月 6 日 ( 火曜日 ) 午前 10 時過ぎ ( 予定 ) から、90 分間の「市民自治ネットワーク代表質問」に立ちます。以下に議会事務局を通じて執行部に提出した、今回の質問内容を抜粋して記載させていただきます。なお、今回から質問の方法が変わり、再質問より「一問一答」方式を採用しますので、私は ( 1 ) ( 2 ) の順番で回答を求めていく予定です。

#### 1. 印西市が目指す社会福祉の方向について

社会福祉の基礎構造改革が進み、行政から与えられる福祉から権利としての福祉、人権尊重の福祉へと大きく転換しようとしています。介護・子育ての社会化、障害者の社会参加の一層の促進など社会保障の拡充・充

実は大きな社会的な課題となっています。自己の生活のあり方を自分で判断し、決定し、行動していくことは人間として当然の、人としてあるべき生き方といえます。すべての市民が健康で文化的な、そして生きがいを持って安全に暮らしていける地域社会、住みなれた地域で主体的に自立した生活ができる高福祉の地域社会、これらを実現するためには、印西市では具体的にどのような施策を策定し、実行していくのだろうか。

#### (1) 福祉教育について

今まで、どのような「福祉教育」を行ってきたのでしょうか。

福祉教育は今後どのように展開していくのでしょうか。その施策は具体的にどこに記載され、数値目標としてどのように表われているのでしょうか。

印西市が考える「福祉教育」の対象者は誰でしょうか。

#### (2) 「千葉県地域福祉支援計画」について

印西市では、千葉県が提示した「新たな地域福祉像」実現に向けた 10 の実践についてどのように捉えているのか。

地域福祉計画は社会福祉法 107 条に書かれている内容と、千葉県が示した支援計画を念頭に策定されるものであるが、何を策定するかということよりもいかにつくるかが重要であるとする。印西市では計画の策定にあたってはどのようなプロセスを経るつもりなのか。

印西市は、地域福祉計画は行政計画であり、行政の事業を列記したものを考えるのか。それとも地域福祉計画は行政計画とは別に目指すべきものがあるのか。

#### (3) 障害者自立支援法と「障害福祉計画」の策定について

印西市内に居住する障害者が自立して生活できる環境は整っているか。

印西市内に居住する障害者はどのような形態での就労を行っているか。

#### (4) ユニバーサルデザインの考え方について

印西市の施策にユニバーサルデザインの考え方はあるのか。その考えはどこに記載されているのか。

ユニバーサルデザインの考えは自治体施策では主に「交通・まちづくり」や「都市施設・住宅」に対して取り組まれるのが一般的だが、「教育」、「雇用」、「情報」それぞれの領域において印西市ではどのように取り組んでいくのか。

## 2. 牧の原駅圏の将来について (略)

### 印西市議会平成 17 年第 4 回臨時会が開催されました。

「北総線の通学定期企画乗車券補助」に関する増額補正(4300万円)の審議が21日に開催され、12対10の賛成多数にて可決しました。(私は賛成しました。)~これにより、印西市では3月までの補助が確定しました。(もし、否決された場合にはその時点で即中止になります。反対した議員には市民の声が届いてないのでしょうか?それとも無視しているのでしょうか。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり